

視覚障害と色彩



日本色彩教育研究会
Japan Association of Color Education

講座テーマ・講師・概要

◆ 9:30～

開 場

9:50～10:00

開会挨拶

日本色彩教育研究会 茂木 一司 会長

10:00～11:20

視覚を超えるアート活動ー触覚と色ー

光島 貴之 氏



『組曲—指先への誘惑』2012年ギャラリーK

見えていた頃の記憶は、色紙を眼に近づけて確認する程度。盲学校小学部に入学以来美術教育で色がテーマになることはなかった。10歳頃、色がほとんど識別出来なくなると点字が色付きで思い浮かべられるようになる。記憶から脱落しそうな色を取りもどし、あいまいだった色を使いこなしたいというほとんど憧れに近い気持ちで41歳からラインテープとカッティングシートで描き始める。現在憧れは色あせて、触覚が色を追い越しそうだ。

◆ 11:20～11:50

会員総会

12:50～14:50

盲学校の色彩教育実践と視覚障害者の絵画へのアクセス

多胡 宏 氏
大内 進 氏

長年視覚特別支援学校(盲学校)で図工美術教育の指導にあたってきました。教育関係者から視覚障害児(盲児)の色彩教育の必要性を指摘する意見は少なくありません。成人した方からも同様の意見を伺うことがあります。視覚特別支援学校(盲学校)における色彩教育がどのように行われているかアンケート調査から現状を明らかにするとともに、現在取り組んでいる色彩教材・題材開発の様子についてご紹介します。(多胡)



学習の様子

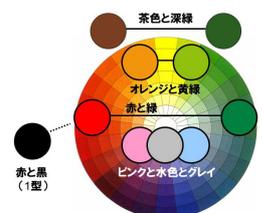
近年、視覚障害者が絵画作品を鑑賞する取組が広く行われています。絵画の説明には様々な方法が考案されています。今回は、イタリアで開発された名画を半立体的に翻案した「手でみる絵」を中心に、そうした方法のいくつかを紹介합니다。また、いずれの場合も、視覚経験がない人の色彩へのアクセスが大きな課題となっています。これまでの具体的な実践例などを取り上げながらその方策について共に考える機会にしたいと考えています。(大内)

15:00～17:00

色のユニバーサルデザインについての学び方

名取 和幸 氏

色の見え方には多様性があり誰もが同じではありません。ところがそのことが正しく理解されていないため、色覚のタイプによってはわかりにくいデザインを多くみかけます。本講では、そうした不適切なデザインによる視覚的な障害を解消するための「色のユニバーサルデザイン」に関して、その学び方を中心にお話しします。問題事例の紹介、基礎知識、分かりやすさのチェック法やデザインの基本ルールなどに触れ、簡単な実習も行います。そしてカラーコミュニケーションについて考えたいと思います。



開催要項

会 期 2019年8月9日(金) 9:30～17:00

後 援 一般社団法人日本色彩学会

会 場 日本大学芸術学部 江古田校舎西棟 B1
デザインプレゼンテーションルーム
東京都練馬区旭丘 2-42-1

協 賛 日本色研事業株式会社

定 員 50名(申し込み順)

主 催 日本色彩教育研究会/一般財団法人日本色彩研究所

参加費 3,000円(会員 日本色彩教育研究会/日本色彩学会)
5,000円(一般)、500円(学生)

光島 貴之 (みつしま たかゆき) 氏



美術家・鍼灸師

10歳頃失明。1975年 盲学校理療科卒。1980年 大谷大学哲学科卒。1982年 鍼灸院開業。

1992年から粘土造形を、95年よりラインテープとカッティングシートを使った「さわる絵画」の制作を始める。

1998年 公募展「98長野アートパラリンピック」大賞・銀賞受賞。2002年、対話しながら絵を鑑賞するグループ「ミュージアム・アクセス・ビュー」の結成に参加。国内外での展覧会・ワークショップなど多数。

多胡 宏 (たご ひろし) 氏



元群馬県立盲学校校長・群馬大学大学院

群馬県内の特別支援学校に美術科教師、教頭、校長として勤務。盲学校には三度赴任し、合計18年間勤務。群馬県の視覚障害児の作品集「こころのかたち」編集発行。定年退職後、盲児の美術科教育における有効な教科書や手引書、サポートブックなどの作成の可能性を探るために群馬大学大学院へ入学。

大内 進 (おおうち すずむ) 氏



独立行政法人国立特別支援教育総合研究所名誉所員・特任研究員。

専門は視覚障害教育。アートとの関連では、立体及び半立体触覚教材の開発と活用、絵画の半立体的翻案と活用などに取り組んできた。「手でみる絵」を展示する「手と目でみる教材ライブラリー」を開設している。東洋大学、星美学園短期大学非常勤講師。日本弱視教育研究会顧問。ハビリテーション連携科学学会理事、特殊教育学会、教育心理学会、日本ロービジョン学会他所属。

名取 和幸 (なとり かずゆき) 氏



一般財団法人日本色彩研究所常務理事・研究第1部シニアリサーチャー。専門は色彩心理学。

様々な商品や環境の知覚品質をカラーデザインによって強化するため、感性面と機能面から多くの調査・実験を手掛ける。主な研究テーマとしては嗜好色、記憶色、色名、色彩学史など。女子美術大学・東洋大学・文化学園大学非常勤講師。日本色彩学会関東支部長。他に日本心理学会、日本建築学会他所属。

● 申込方法

申込書に必要事項をご記入のうえ、下記宛先までお申し込みください。

FAX、郵送、E-mailのいずれでも結構です。

E-mailの場合は、申込書にある記入項目を転記の上、その内容を記載してください。

参加費は「現金書留」「銀行振込」「郵便振替」いずれかでご送金ください。

メールまたはファックスにて受講証をお送り致しますので、

当日写しを受付にてご提示ください。

● 申込先

〒339-0073 さいたま市岩槻区上野4-6-23

一般財団法人日本色彩研究所内 日本色彩教育研究会事務局 赤木・大内

FAX : 048-794-3901 E-mail : ohuchi.hiroko@jcri.jp

お問合せ TEL.048-794-3816



● 会費振込先

郵便振替 00150-6-136277 色彩教育研究会

銀行振込 三菱東京UFJ銀行 六本木支店(店番号045) 普通預金 No.4274001

色彩教育研究会(シキサイキョウイクケンキュウカイ)

会場

日本大学芸術学部 江古田校舎西棟B1
デザインプレゼンテーションルーム
東京都練馬区旭丘 2-42-1



- 西武池袋線各駅停車
江古田駅下車 北口より徒歩1分
- 都営大江戸線
新江古田駅下車 A2 出口より徒歩9分

キリトリ線

参加申込書

◆第69回日本色彩教育研究会本部研修会「視覚障害と色彩」に参加費を添えて申し込みます。

必要事項をご記入のうえ、日本色彩教育研究会事務局までお送りください。

FAX 048-794-3901

氏名	勤務先 【学生は学校名】	
連絡先住所 【参加証送付先】 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先	TEL	-
	FAX	-
	E-mail	@
該当する□に ✓印を付けて ください	所属	<input type="checkbox"/> 日本色彩教育研究会 <input type="checkbox"/> 日本色彩学会 <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 学生
	支払方法	<input type="checkbox"/> 現金書留 <input type="checkbox"/> 郵便振替 <input type="checkbox"/> 銀行振込 ●支払期日 2019年 月 日予定
	領収書	<input type="checkbox"/> 要(領収書宛名)) *領収書は当日受付での発行となります。
	懇親会	<input type="checkbox"/> 参加 <input type="checkbox"/> 不参加